

沖縄研修報告書

寿考館 2F フロアリーダー 後藤路代

まずは今回ご多忙の中私たち2名の研修を快く受け入れ、熱心ご指導して下さいました本部園の職員の皆様方に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

今回の研修で学んだこと、感じたことを白寿苑で活かしていけるよう努めていきたいと思っております。

この研修を通して、一番印象に残ったことは職員の皆様と利用者の皆様との距離がとても近いと感じられたことです。まるで家族のような、身内のような関係性を感じました。家族の様とはいっても「親しき仲にも礼儀あり」という言葉の通り、失礼のない、節度を持つての親しみといった感じです。

親しみというのは職員と利用者様だけではなく、面会に来られていたご家族様とも、とても深い信頼関係を築いているように思いました。職員、利用者様共に本部園周辺の方が多ということもあるかもしれませんが、とても温かい光景を何度も目にしました。私が働いているユニットでご家族との信頼関係がどれくらい築けているのだろうと考えました。今後はできるだけご家族とお話する機会を増やして、さらによりよい関係を築き、信頼して頂けるよう努力していきたいと思いました。

次に本部園様では今年、2014年8月に住居型有料老人ホーム「ときわ」をオープンされました。

とても開放的な広い空間がありゆったりとした造りになっていました。

「ときわ」の特徴として、①重度の方の受け入れ可能、②入居者に合った食事の提供(制限食も対応)、③人工透析の治療を行っている方の受け入れ可能、④夫婦対応の部屋があり夫婦での入居が可能、⑤中庭はウッドデッキを設置。そのまま外に出られ散歩に最適。

以上のようなことが挙げられています。



特別室には、トイレ・シャワーを完備

夫婦で入居可の部屋



広々とした開放的なフロア



廊下を挟んで両サイドに居室があります

この有料老人ホームに入居されている方は、ここからデイサービス等に通われます。こちらは特養（施設介護）とは違った形のケアがあり入居者様中心の希望に沿った生活が送られています。

その他にも白寿苑との違い、参考にさせていただきたいことが多々ありました。

まず、水分補給時のコーヒー等に普通の砂糖ではなくオリゴ糖が使われていました。オリゴ糖は整腸作用があり便通がよくなるそうです。下剤の服用もほとんどないそうです。コスト面等も考慮し可能なら白寿苑でも試してみたいと思いました。

次に制服がないことです。一着だけ揃いのポロシャツがあるそうですが、基本的には勤務中の服装は私服だそうです。揃いのエプロンもありましたが着用されている方、いない方がおられ、自由だそうです。制服の有無には一長一短がありますが、フロアを見渡したときに、介助する側とされる側がしっかり区別されていないのいいところでもあると思いました。制服は家庭的な雰囲気を求めるユニットには不向きと言えるかもしれません。施設と自分の名前が入っている制服がある事で、より責任を持って業務に当たるなど利点もあると思うのでどちらがいいとは言いきれませんが、制服がないという違いがありました。

ほかにレクのひとつとして地元のお祭りのDVDを流す、化粧をして外出する「リハドライブ」、廊下の机に小豆と大豆が入っているものが置いてあり、豆の選り分けとして、指先のリハビリに使われていました。

また、介護職、看護職、事務職、栄養士など他職種が連携してフロアの見守りや食事介助を行っているところにも違いを感じました。

今回の研修は私にとって初めての沖縄ということでカルチャーショックとも言える驚きがいっぱいでした。同じ日本とはいえ利用者の皆様が話される沖縄の方言が全く分からず、通訳をしていただくこともありました。また、沖縄の風習や習慣、歴史的背景なども熱心に教えて頂き「介護」とは違った視点からも勉強をさせていただきました。

職員の皆様、利用者の皆様の温かさに触れ、大変有意義な研修をさせていただくことが出来ました。また機会があれば是非伺いしたいと思っています。

今回、学ばせて頂いたことが白寿苑で活かせるよう努めていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の研修を快く迎え入れて頂きました本部園の皆様、このような機会を与えて下さった白寿苑の皆様重ねて感謝いたします。ありがとうございました。

沖縄研修報告書

尚歯館サブリーダー 浦門 彩

沖縄に着いた日は、あいにくの天気です。少し肌寒かったのですが、愛知県から来た私たちにとっては「思ったより寒いかな。」と、思いましたが過ごしやすい気候でした。

本部園様に着いた際、職員の方々が「今日から特に寒くて。」「昨日までは暖かかったんですよ。」「でも愛知県の方が、もっと寒いですよね。」と、温かく迎えて頂いたおかげで緊張していた気持ちを和らげて頂きました。

今回の研修にあたり、いくつかの研修テーマを持っていき研修にあたらせて頂きました。

まずは他職種との連携についてです。本部園様では建物の構造上、事務所の前に食堂があります。食事の時間になると事務員、栄養士等が配膳・下膳をしております時には食事介助もしていました。他職種の方が食事の時間に携わる事により、利用者様の名前や状態の把握、コミュニケーションも取れ職員間でも利用者様の情報交換が出来ている事がすばらしいと思えました。

看護師も毎食時には常駐しており緊急時には対応出来るように勤務しているとの事でした。

又、夜間の体制ですが基本は介護士が主となり夜勤を行っていますが、急変時に待機の看護師に連絡し指示を仰ぐとの事です。この体制は白寿苑と同じです。

が、緊急性があった場合は待機の看護師が介護士が対応できないと判断した場合等には来て下さるとのことで安心して働ける環境があるとのことでした。

本部園様では色々なセンサーを利用者様に合わせて使用していました。

自己にて起き上がる方にはベットマットの下にセンサーを敷き、起き上がったら鳴る仕組みのセンサー、車椅子から立ち上がろうとしたら鳴るセンサーなどでした。

本部園様でも徘徊し外へ出て行ってしまう利用者様がいたのですが「おまもり」と称しセンサーを身に付け玄関から出て行ったら鳴るというセンサーがありました。センサーの音も全職員が把握しており音が鳴ったら対応していました。

以前は、玄関や窓等に鍵をかけていたそうですが利用者様が不穏になったとの事で職員で話し合い今のように対応する事になったそうです。

正直、尚歯館にも徘徊する利用者様はたくさんいます。尚歯館の対応としては玄関、窓すべてに鍵がしてあります。しかし、時には不穏になり外へ出て行きたいと言う利用者様も

いるのが現実です。尚歯館では話をしたり、散歩へ行ったりしています。が、全員が納得出来ているわけではなく一日中不穏な方もみえます。そうした場合に外への出入りが自由になったら少しは利用者様の心も穏やかになるのではないかと思参考にしたいと思しました。

尚歯館では日々のレクリエーションが充実していないのが現状であり本部園様でのレクリエーションを参考にしたいと思研修テーマに持っていきました。

本部園様でもレクリエーションが中々、行えていないのが現実とのことでしたが本部園様のレクリエーションの一環として「リハビリメイク&ドライブ」というのがありました。当日、出掛ける女性利用者様にお化粧をし、手の爪にマニキュアをしオシャレをして出掛けるというのでした。

お化粧をして出掛けるというのは利用者様自身の気持ちも高まり昔を思い出したようで車中の中でも昔話に花が咲きました。

ドライブもある程度の目的地は決めているようでしたが、利用者様が「あの店の天ぷらが食べたい。」「アイスが食べたい。」などと利用者様の意見も取り入れつつ気ままにドライブに行くというのも利用者様自身が心から楽しめている理由の一つかと思取り入れていきたいと思しました。

不安の中、沖縄研修に行かせて頂きましたが、温かく迎えて下さった本部園の皆様には本当に感謝しています。

今回学んだ事を今後に活かしていきたいと思ます。

最後になりますがご多忙の中、研修を受け入れて下さった本部園様には心より感謝申し上げます。研修報告とさせていただきます。ありがとうございました。